質疑・回答書

告示番号	件 名	中央幹線景観水路柵塗装工事
No	質疑事項	回 答
1	内訳書(第3号)塗装工の素地調整工の数量について 素地調整工(ケレン作業)防護柵等の数量が300m ² に対し防護柵の面積は659.5m ² 、デザインパネル10箇所、手摺12m有ります。素地調整工の面積が少ないのはなぜでしょうか。	素地調整作業の種別は、3種ケレンとし汚れ、付着物の除去程度と考えているので数量を300m ² としています。
2	内訳書(第3号)塗装工の素地調整工(ケレン作業)についてケレンの作業内容は汚れ・付着物の除去程度と考えてよいでしょうか。	素地調整作業の種別は、3種ケレンとし作業内容は汚れ、付着物の除去程度と考えています。
3	内訳書(第3号)塗装工の塗替塗装下塗について現場説明書2(工事編)では柵およびデザインパネルとも下塗が2液弱溶剤型エポキシ樹脂系さび止め塗料とありますが、内訳書では鉛系さび止めペイント(1種)となっています。また、代価表ではJIS K5621 2種となっています。代価表の塗料の使用量より2液弱溶剤型エポキシ樹脂系さび止め塗料ではないと思うのですが、ご指示をお願いします。	代価表のJIS K5621 2種 合成樹脂系 赤さびで考えています。
4	代価表(第5号～第7号)までの塗料の使用量についてデザインパネル100箇所の使用量と防護柵100m ² の使用量が同じになっています。デザインパネル1枚の面積が1m ² となってしまいますがいかがでしょうか。	デザインパネル1枚の面積は1m ² で考えています。